

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 津山商業 高等学校
実践場面	津商モール
実践日時（時期）	令和6年12月7日（土）
対象生徒（学年）	全校生徒 約480名
連携の形態	<input type="checkbox"/> 包括連携協定（ ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 毎年、地元商店街等と連携して実施 ）
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最先端の技術・設備の見学 <input checked="" type="checkbox"/> その他

実践の内容

【背景】

- ・商業高校では仕入れや販売、会計など、実践を通して学ぶため、販売実習を行っている。
- ・津山商業高校では、平成21年から大規模販売実習である「津商モール」を毎年開催している。
- ・以前は体育館をメイン会場としていたが、会場を商店街に移し、6年目を迎える。（コロナの影響で商店街での販売は4年目）



【実践内容】

- ・第16回津商モールについては、12月7日（土）に、津山市中心部の商店街「ソシオー番街」やショッピングセンター「アルネ・津山」、多目的広場「城下スクエア」を会場に開催した。
- ・作州地域の商店、企業、農産物直売所などの協力で仕入れたり、授業の一環で開発したりした商品や野菜、家電、菓子などを、生徒は18のブースで販売した。
- ・事前準備としては、多くのお客様に来てもらえるよう、津商モール専用HPや学校の公式Instagramでの広報の他、学校の周りにのぼりを立てPRしたり、当日、お客様に喜んでいただけるよう、協力企業へ事前研修に行ったりした。
- ・より実社会に即した販売実習を行うため、第15回津商モールから電子決済を取り入れており、今回も事前にauと打合せを行った後、当日、auPAYによる決済も可能とした。



実践による効果等

- ・生徒からは「実習を通じて学校の取組を知ってもらい、商店街や市街地の活性化にもつなげたい」という前向きな発言があった。
- ・訪れた地域の方からは「生徒が商品について詳しく説明してくれて気持ち良い接客だった。」「いろいろな商品を一度に見られて楽しかった。」といった感想が得られた。

※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）